

校友会 OB への訪問

法政大学後援会  
長野県支部

**「早川英治 長野放送報道局長」へOB訪問いたします**

日時： 8月27日(木) 13:30 ~ 14:30

場所： 長野放送 本社

対象： 法政大学在校生

支部後援会会員

☆参加希望者の方は、樋沢まで連絡ください。

# OB 訪問報告書

日時 平成 27 年 8 月 27 日 (木) 1 : 3 0 ~ 2 : 3 0 (株) 長野放送本社※

内容 法政大学 後援会長野県支部、法政大学生、校友会 OB との交流及び就職支援

参加人数 5 名

## ●早川英治氏 (校友会 OB・長野放送報道部長) との懇談 (1 : 3 0 ~ 2 : 1 0)

早川氏は現在 (株) 長野放送報道部長またアナウンサーとしてご活躍されている。テレビで拝見する早川氏とは又違う人隣を見させて頂いた。学生の質問に対し、報道の仕事についてのお話、長野県外、国外にも取材へ行くなど現場の話聞く。また、就職面接時の採用側の見る観点は? に対し、第一印象の良い学生、全体的な雰囲気の良い学生であること、プラス思考であること、きちんとした日本語を話せる学生かどうかを見るとお話頂いた。また自身がアナウンサーを志したきっかけ、大学の教職課程恩師の一言でこの職業を決めた事を、当時の思い出も含めてお話し頂いた。学生には、たくさんの縁や出会いを大事にすること、仲間を大切にすること、卒業後に感じる法政大学のブランド力の強さをお伝え頂いた。

横浜ご出身の早川氏だが、長野放送を退職しても長野県で永住したいと仰り、県民愛も深い人間性も感じる事ができた。

## ●長野放送の社内見学 (2 : 1 5 ~ 2 : 3 0)

普段、なかなか見られない放送局の内部、スタジオや機器を見学させて頂いた。スタジオでは丁度、生放送の最中で現場の緊張感も味わう事ができた。参加の学生も興味津々で写真撮影など貴重な時間をいただいた。

## ●見学を終えて

参加学生のひとりに感想を聞いてみると、とても貴重な時間であり、このような機会があれば又参加したいと意気込んでいた。夏休みで帰省した甲斐があったと喜んでた。OB の方に直接お話を聞くという貴重な体験は学生のこれからの生活、勉学に少しでもプラスになったのではないかと思う。

※県全域を放送対象地域としたテレビジョン放送事業を行っているフジ系列の放送局。

H27年8月12日

法政大学長野県支部  
会員各位 同在学生各位

## 法政大学 OB 訪問と就職支援応援について(案内)

法政大学後援会長野県支部  
支部長 樋沢一幸



日頃より法政大学後援会事業に対しまして、支部皆様には御支援、御協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、7月26日総会にて法政大学校友会(OB)で長野放送の早川英治さんに司会をしていただきました。そのお礼を含めて、OB訪問を企画いたしました。

長野県支部の皆様や在学生にも参加の県内優良企業のOBを知っていただきたくご案内を申し上げます。

下記にて御案内いたします。

### 記

1. 日時 8月27日(木) 13:30~14:30
2. 場所 長野放送 本社
3. 対象 法政大学在学生 支部後援会員
4. 申し込み方法 樋沢一幸

※8月20日(木)までに連絡をお願いします

以上

H27年7月26日

法政大学後援会長長野県支部学生への  
就職支援事業について趣意書

法政大学後援会長長野県支部  
支部長 樋沢一幸



法政大学の学生は、2015年4月14日現在26,853名です。また、首都圏(東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県)の学生は約19,000名で、約72%近くを占めており、毎年首都圏の入学者は6,000名強になってます。

それ以外の地方からの学生は4学年全体で、約7,600名が在学しており一学年あたり1,700名を超える学生であります。その中で、長野県の法政大学の学生は436名で2015年の入学者数は101名でした。

地方県の出身別で見ると全国で、4番目に多い学生の県となります。

法政大学の後援会の合言葉は『子供の母校は我が母校』で、後援会は学生と大学を支援する団体であります。

また、活動目的は、「大学の教育方針に則り大学と学生、家庭との連絡を緊密にして、教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る。」事であります。

日本経済もアベノミクスの効果なのか、首都圏、大都市圏を中心にした上場企業の実績は、大部分が前年度比をかなり上回る純利益を計上しております。

そんな中で雇用に関しても新卒者を始めとする需要が増加しています。

また、大学のインターンシップを通じて内々定を頂ける優秀な学生も多くなってきております。

しかしながら、地元である長野県に大学生が戻り、希望する就職先に内定をもらえるのは、法政大学生にとってもかなり困難な事でもあります。就職活動をしっかり計画、行動していくのは学生自身でありますし、成人として自らの責任をもって就職活動に邁進するのは当然の事であります。

その補助として私達、長野県後援会はやる気のある長野県出身の法政大学生を、自身の希望する企業及び産業へ就職する応援団として、法政大学と校友会と三位一体の連携を図りながら、就職支援事業を推進してまいります。

具体的には、学生と県下在住の法政大学 OB との交流支援、校友会 OB との就活相談会や法政大学キャリアセンターと支部後援会の連携事業などを計画しております。

つきましては、後援会の皆様はじめ、関係団体の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

